

月刊

地球が与えてくれた贈り物を大切にリサイクル社会の実現をめざしたい

No.121 2004.10

<http://www.recycledesign.or.jp>
Eメールmail@recycledesign.or.jp

リサイクルデザイン

特集

100%生まれ変わる廃木材

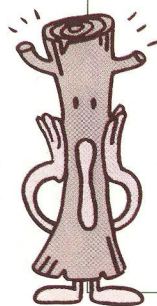


- 教えて、聞かせて 流木、貝がら、シーグラス…海岸は宝の山なのだ！ P3
- 今月のリサイクルデザイナー・第10回リサイクルデザインフォーラム P6
- エコ・クッキング 豚ロースの野菜ソース添え P7
- エコ・スポット ネイチャークラフトガーデン P8

100%生まれ変わる廃木材

木材のリサイクル、と聞くと、あなたは何を思い浮かべますか？公園や街路樹の剪定枝や使わなくなった家具など、喜らしの中目にするものを想像しませんか？もちろん、それらもれっきとした木材なので、可能な限りリサイクルされています。一方、私たちが気付かないところで使われ再生されている木材は、より膨大な量なのです。そのリサイクルに迫ってみました。

大きな廃木材が瞬く間にチップとなって



今回おじゃましたのは、金沢区幸浦にある“神奈川ウッドエネルギーセンター協同組合”。昭和59年の設立以来、廃木材の再生・製品化を手掛けてきたそうです。今でこそ、あらゆるもののリサイクルが声高に叫ばれるご時世ですが、20年近くさかのぼる当時は、全国的に見ても珍しい存在でした。

その日、盛夏の終わりを告げるかのような台風ラッシュのあおりを受けて、横浜湾岸も怖いほどの強風に見舞われていました。組合の案内役・武松昭男さんについて廃木材の処理場に入っていくと、そこは風に舞い上げられた‘きな粉’のような粉じんでぼんやりと霞んでいました。

積み上げられた太い柱や板などの廃木材、それをくわえては大型のフォークリフトが破砕機の中に投入していきます。投入口からわずか数メートル移動する間に、吹けば飛ぶほどの小さなチップになってしまうのは驚きです。夏期は、ほこりを防ぐため工場敷地内に消防ホースで散水しますが、瞬く間に暑さと風で乾いてしまうとのこと。作業するにはたいへんな季節だということがよくわかりました。あたりが木材ならではの良い匂いに満ちていたことも印象的でした。

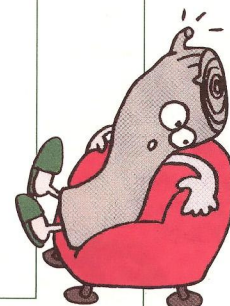
チップは用途に合わせ3種類に分別

廃木材は、まず投入前に材質別に大きく2分（高品質の木材と、そうでないもの）されます。それぞれ別々に、大きなハンマーで叩いて砕く形式の破砕機に入れます。そこからベルトコンベヤーに乗って出てきたチップは、磁石の力でくぎや蝶番などの金属類と分けられ、振動選別機にかけられます。振動させることで大きさ別にふるい分け、大きな物はもう一度破砕します。高品質の廃木材は合板チップとなり、合板加工工場を経て家具の材料などになります。もう1種類のほうは燃料チップ。主に工場でボイラーの燃料として使われます。

どちらのチップの製造過程でも、チップ材としての製品サイズより細かいものが出ます。これは細粒チップと呼ばれ、きちんと再利用されています。組合ではこれをフワフワの綿状にして、試験的に養豚場の豚舎で敷きわら代わりに使用しています。この細粒チップで土壌改良の働きをする菌を培養すると、ふん尿の臭いも防いで豚舎の環境を良好な状態に保つ無臭養豚ができます。細粒チップは数カ月で発酵して、たい肥としての利用も可能な状態になるそうです。



そうが、そんなところにも木材が



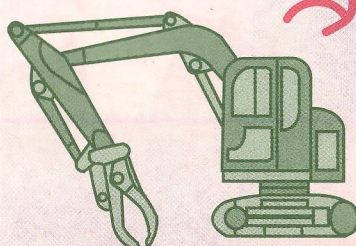
さて、その廃木材ですが、その多くは梱包材・木製パレット（製品を運搬・輸送する際、下に敷く薄い箱状のもの）など、流通に欠かせない資材です。工場から市場への輸送、また海外から日本への輸入貨物には付きものですが、表舞台に出ることはないため忘れられがち。その量は国内外の物の流通量に左右されるため、経済のバロメーター的な役割を果たしているとも言えるでしょう。他に、建物を壊す時に出る解体くずや、木製家具などの粗大ごみも搬入されます。敷地内にソファがたくさんあって驚きましたが、そう見えなければソファにも木わくがあるんですね。

搬入したものは100%再生し、その処理量は1日に80トンほど。季節によって差があり、夏は冬に比べて多いのだそうです。組合設立のころから業界を見つめてきた武松さんは言います。「昭和60年ごろに入ってきた木材は、質が良かったですね。それは、昭和30年代に建てられた家の解体くずなどです。年を経るごとに、だんだんと質が悪くなってきたし、最近は接着剤を多用した木材や複合素材のものが多くなってきました。今、どんな材料が使われているのかを考えないと、2、30年後にどんな再生資源が入ってくるのかわからなくなりますから、常に、数十年先のことを予測する気持ちでいます。なかなかしんどいですよ、もちろん面白さもありますけど」

廃木材を燃やさず、再生した木材チップを使用することは、地球温暖化の原因物質のひとつ二酸化炭素の発生を抑え、また地球規模での森林資源の保護につながります。木材のリサイクルを今後ますます発展させるためには、再生品の出口、つまり用途の拡大が必要だ、と武松さんは説きます。敷きわら代わり、というユニークな発想もありますが、他にもきっと利用できるシーンがあるはず。業界だけでなく、多くの人の知恵が活かせたら良いですね。

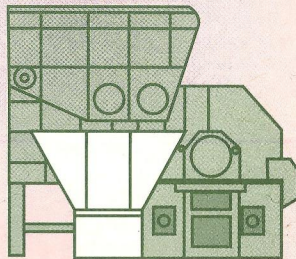
廃木材がチップになるまで

投入コンベアー



重機で投入コンベアーへ投入し、再生不適物の除去と検品をする

横型破砕機

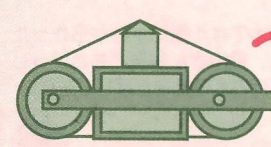


ボルトやくぎが付いたままでも破砕可

ついでに大きな木材チップだったのに…。お皿の中でおさまった合板のチップと燃料チップ、そして細粒チップ。

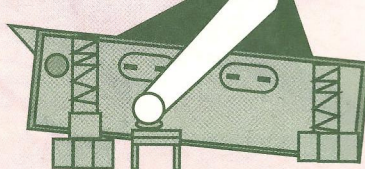


つりさげ式磁選機



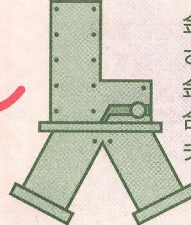
木くずに付いているくぎなどの鉄（これも再生）を磁力で取り除く

振動選別機



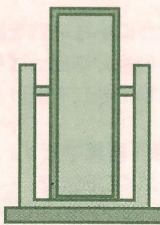
大きさによってチップを選別する。細粒チップはここで完成

切り替えダンパー



金属探知機で検知された鉄以外の非金属を取り除く合板チップと燃料チップの完成

金属探知機



念には念を入れて鉄を探知する



教えて、聞かせて

流木、貝がら、シーグラス…… 海岸は宝の山なのだ！

秋。ひと頃の騒ぎがウソのように静まり返った海岸は、この季節におすすめしたいお散歩スポットです。海水浴はできないけれど、その代わり“ビーチコーミング”の楽しみがあるから。海岸に流れ着いた様々な物を拾って、オリジナルな芸術の秋を味わってみてはいかが？

海岸は材料の宝庫

海や山で集めた自然の恵みを生かして子どもたちとアートを楽しむ自由人がいる、と聞き、訪ねてみました。そこは、横須賀市の秋谷海岸に面した工作教室“アトリエ・キッズ”。主宰者の神山豊さんは、油絵やエッチング、彫刻を手掛ける芸術家です。住居の2階がアトリエで、そこに毎週水曜日、近所の子もたちが集まり、神山さんと一緒にいろいろな造形物を作ったり、できた物を利用して遊んだりしているのです。

目の前に広がる秋谷海岸は、工作の材料探し（ビーチコーミング……海岸の漂着物を収集すること）に一役買っています。大小様々な流木や貝がら、シーグラス（長いあいだ波にさらされて曇りガラスようになったガラスのかげら）、瀬戸物の破片（波に洗われ角が丸くなっている）、木の実、海草など、多種多様な物が打ち寄せられています。それはごく普通の海岸風景なのですが、工作の材料だ！という目でみるとがぜん輝きを帯びてくるから不思議です。

シーグラスや陶器の破片をストックしておけば、いろいろ使えるよ。



とっても速そうなザトウクジラ

魚の骨も楽しいモチーフに

このトナカイの角は海草の根っこ

貝の仲間。
左はタコノマクラ。
右はスカシカバンと
タツノオトシゴ

山で拾った小枝の巣にはエッグキャンドルが。



楽しい！と思う気持ちが大事

「子どもは基本的にどんな子どもでも、絵を描いたり物を作るのが好きですね。目を輝かせる。できた物のうまいへたでなく、描いたり作ったりするのが楽しいかどうか大事。大人になると、なかなか自由な発想ができなくなりがちだけど、子どもの頃の“楽しかった”という気持ちを忘れないでいてほしいと思いますね」

アトリエのほか葉山でも教室を開き、港南区の保育園で図画工作を指導している神山さんはそう言います。型にはめず、ひとりひとりの自由でのびのびとした発想を引き出すことに、千差万別の自然の素材はうってつけと言えるでしょう。

図面を引くところから大工仕事、内装まですべて自分でやってしまった、という手作りのアトリエには、そんな神山さんの考え方や個性があふれています。温もりのある木の棚や壁には、神山さんと子どもたちの作品が所狭しと並び、引き出しにはビーチコーミングの収穫やリボン、ひも、ガラスのチップなどの材料がぎっしり。それを見ていると、何か、おもしろい物が作れそうな気がムクムクと湧いてきます。

これは流木でなく堅い木材から作ったパチンコ。神山さんも子どもといっしょに、ヒバの木の実をとばして遊ぶ。

作ってみよう

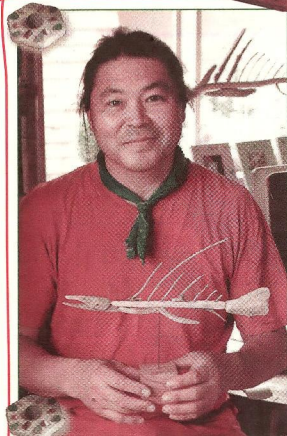
流木アートに作法はありません。ここでは神山さんの場合、ということで造形物の作り方をお伝えします。

- ・流木を手にして、何に見えるかな、と考える。直感を生かし、何に仕上げるかを練る。
- ・複数の流木で作る場合、まず、かけらをどんなふうに並べるかを考え、実際に紙の上に並べセロテープで仮止める。
- ・並べ方が決まったら、ふたつの流木を貫通するように小さな穴を開ける。（電動ドリルがあると簡単）
- ・バンドをつけた竹ひごを通し、接合する。竹ひごの余分な出っぱりを切り落とす。これをくり返す。
- ・できた物のメインとなる部分の底部と土台となる物にも穴を開け、針金などを刺してつなげば完成。

＊秋谷教室は定員に達しており、葉山教室のみ若干募集中です。

お申込みは TEL 0468-57-0809 アトリエKIDSまで。

＊ビーチコーミングについて <http://www.tepore.com/column/special/>



インターネットで ごみと資源の 分け方・出し方が わかります!!

横浜市環境事業局のホームページで
「あなたにもできる! ごみの分別」ビデオを
配信しています。

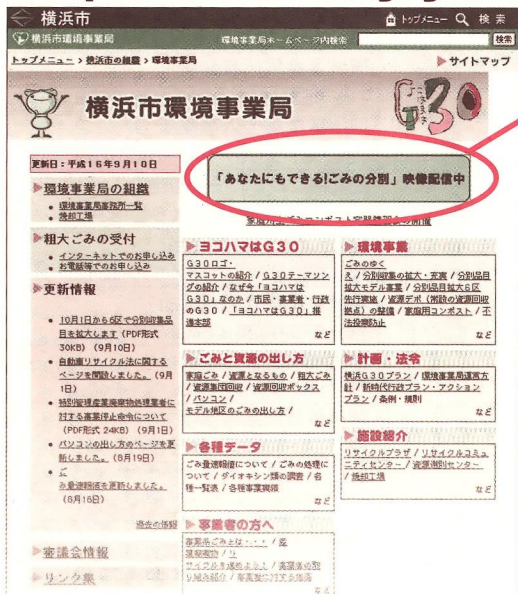
横浜市では、「よこはまG30」を合言葉にごみ減量・リサイクル(G30行動)に取り組んでいます。分別収集品目の拡大については、昨年10月から始まったモデル事業実施によって、市民意識が高まり、早期全市実施の市民要望が多くなっています。

そこで、市民の皆様の声に応えるとともに、横浜G30プランの目標達成に向けてスピードアップを図り、家庭から出るごみの減量・リサイクルを一層進めるために、平成16年10月からは6区(南区・港南区・磯子区・金沢区・栄区・泉区)において分別収集品目拡大を先行実施します。その他の12区については平成17年4月より実施します。

6区における分別収集品目の拡大にともない市民の皆さんに新しいごみと資源の分け方についてよりよく知っていただくために、ごみの分別を分かりやすく説明したビデオを環境事業局のホームページで配信しています。

ホームページのアドレスは以下のとおりです。ぜひご利用ください。

<http://www.city.yokohama.jp/me/pcpb/>



ビデオの内容と時間

- 中田市長メッセージ 3' 05
- 分別収集品目拡大の趣旨 4' 00
- 「プラスチック製容器包装」の分け方・出し方 4' 08
- 「古紙」の分け方・出し方 4' 27
- 「古布」「スプレー缶」「燃えないごみ」の分け方・出し方 2' 58
- 従来の品目(「家庭ごみ」「缶・びん・ペットボトル」「小さな金属類」「使用済み乾電池」「粗大ごみ」)の分け方・出し方 1' 57
- 分別の工夫・実施時期について 2' 52

ここをクリック!

●ご覧になるために必要なソフトについて

映像は、「Windows Media™」の形式で配信しています。「Windows Media」をご覧になるためには、「Windows Media Player」が必要になります。お持ちでないかたは、プレーヤーを入手してからご覧ください。(Windowsパソコンの場合、購入時から組み込まれていることが多いです。)

●ご意見・お問い合わせ

環境事業局家庭系ごみ対策課分別推進担当
TEL 671-3819 FAX 663-8199

イベント

●中区 10月10日(日) ハローよこはま2004 ・フリーマーケット

場所:根岸森林公園
時間:午前10:00~午後3:00
*小雨決行(雨天順延)
問い合わせ
中区生涯学習支援係
TEL 224-8135 FAX 224-8215

●港南区 10月23日(土) こうなんリサイクルフェア2004 ・リサイクルマーケット

場所:港南中央地域ケアプラザ前 道路
時間:午前10:00~午後3:00
問い合わせ
港南区ごみゼロ推進担当
TEL 847-8398 FAX 842-8193

●保土ヶ谷区 10月23日(土) みんなあつまれ保土ヶ谷 ・フリーマーケット

場所:保土ヶ谷へそ広場
時間:午前10:00~午後3:00
問い合わせ
保土ヶ谷区ごみゼロ推進担当
TEL 334-6304 FAX 332-7409

●港北区 10月23日(土) ふるさと港北ふれあいまつり ・子どもフリーマーケット

場所:新横浜駅前公園
時間:午前9:30~午後3:00
*雨天順延
問い合わせ
港北区ごみゼロ推進担当
TEL 540-2244 FAX 540-2245

●都筑区 10月23日(土) ・フリーマーケット

場所:センター南駅前すきっぷ広場
(雨天時センター南駅コンコース)
時間:午前10:00~午後3:00
問い合わせ
消費生活10/23フリーマーケット係
TEL 948-2232

●瀬谷区 10月30日(土) 瀬谷まつり ・フリーマーケット

場所:上瀬谷通信施設の原っぱ
時間:午前10:00~午後3:00
*雨天順延
問い合わせ
瀬谷区ごみゼロ推進担当
TEL 367-5699 FAX 367-4423

●磯子区 10月31日(日) 磯子まつり ・フリーマーケット

場所:磯子区役所周辺
時間:午前10:00~午後3:00
*雨天中止
問い合わせ
磯子区ごみゼロ推進担当
TEL 750-2397 FAX 750-2534

ファイバーリサイクル(古着・古布リサイクル回収)

※雨の日も回収するので、ぬれないようにビニール袋に入れてください。布団・ぬいぐるみは回収しません。

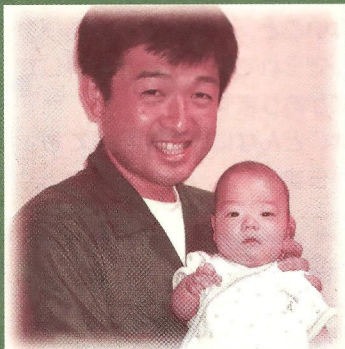
区	日・時	回収場所	各区ごみゼロ推進担当
鶴見区	10月31日(日) 午前10:00~午後1:00	区内各地区センター・区役所玄関前・豊岡会館	TEL 510-1689/FAX 510-1892
神奈川区	10月16日・23日(土) 午後1:00~午後3:00	区内12か所	TEL 411-7091/FAX 323-2502
西区	10月2日(土) 午前9:00~11:30	区内12か所	TEL 320-8388/FAX 322-5063
緑区	10月30日(土) 午前10:00~12:00	区内12か所	TEL 930-2241/FAX 930-2242
戸塚区	10月2日(土) 午前10:00~正午	川上保育園前	TEL 866-8411/FAX 864-1933
瀬谷区	10月8日(金) 9日(土) 午前10:00~午前11:30	二ツ橋公園	TEL 367-5699/FAX 367-4423

センターリサイクル ※品目ごとに分別を。事業系ごみは不可。

区	日・時	場所	回収品目	問い合わせ	備考
鶴見	2日・16日(土) 午前9:30~11:00	鶴見リサイクルプラザ	(区)によって品目が異なります。詳しくはお問い合わせください) 古紙・古布・プラスチック製容器包装等	環境事業局鶴見事務所 TEL 502-5383/FAX 502-5482	
神奈川	10日(日) 午前9:00~12:00	反町公園 (神奈川区役所側)		エコライフかながわ TEL 413-3196	雨天実施
西区	毎週土曜日 午前9:00~11:30	環境事業局西事務所 1階駐車場		環境事業局西事務所 TEL 241-9773/FAX 251-1791	雨天実施
中区	16日(土) 午前9:30~11:30	①横浜公園日本大通り側 ②環境事業局中事務所		中区役所ごみゼロ推進担当 TEL 224-8140/FAX 224-8215	雨天実施・車で搬入可
南区	9日・23日(土) 午前9:30~11:00	環境事業局南事務所		環境事業局南事務所 TEL 741-3077/FAX 741-6492	
保土ヶ谷区	2日・16日(土) 午前9:30~12:00	保土ヶ谷区役所別館 駐車場		保土ヶ谷区ごみゼロ推進担当 TEL 334-6304 FAX 332-7409	雨天実施
旭区	17日(日) 午前9:00~12:00	環境事業局旭工場		環境事業局旭事務所 TEL 953-4811/FAX 953-6669	雨天実施
金沢区	毎週土曜日 午前9:00~11:00	環境事業局金沢事務所		環境事業局金沢事務所 TEL 781-3375/FAX 788-0269	
港北	2日・16日(土) 午前10:00~12:00	港北区役所 駐車場		港北区ごみゼロ推進担当 TEL 540-2244/FAX 540-2245	
緑区	13日(水) 30日(土) 午前9:30~	なかやま「はらっぱ」		緑区ごみゼロ推進担当 TEL 930-2241/FAX 930-2242	
青葉区	3日・10日(日) 午前9:30~12:00	環境事業局青葉事務所 駐車場		環境事業局青葉事務所 TEL 975-0025/FAX 975-0028	雨天実施
都筑区	2日・16日(土) 午前10:00~11:30	環境事業局都筑工場 管理棟前		環境事業局都筑事務所 TEL 941-7914/FAX 941-8409	小雨実施
栄区	2日・16日(土) 午前9:00~11:00	環境事業局栄事務所		環境事業局栄事務所 TEL 891-9200/FAX 893-7641	雨天実施・車で搬入可
泉区	3日(日) 午前9:00~12:00	環境事業局泉事務所		環境事業局泉事務所 TEL 803-5191/FAX 803-7951	雨天実施・車で搬入可
瀬谷区	2日(土) 午前9:00~12:00	二ツ橋公園		環境事業局瀬谷事務所 TEL 364-0561/FAX 391-4784	雨天実施・車で搬入可

リサイクルデザインフォーラム
実行委員長
(有限会社マルニ商店 業務部長)

きよたか
栗原清剛さん



息子 大晴くんと

プロフィール

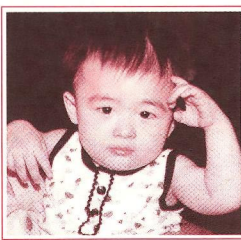
1972(昭和47)年、西区に生まれ育つ。有限会社マルニ商店の3代目。西区の2世帯住宅の3階で中学・高校と同級生だった妻と父から名前を1字ももらった息子との3人暮らし。野球とゴルフが趣味。英語教師の免許をもっている。

フォーラムは

組合からおくる年に一度のファン感謝デー リサイクルについて考えるきっかけの場所

栗原さんの職業は横浜で唯一の『カレット商』。東京都内や神奈川県内の資源化センターで分けられたガラスびんの原料となるカレット(ガラスくず)を収集してリサイクル業者に納める仕事をしています。学校の先生になりたいと大学で教職課程を学んでいた栗原さん、この仕事につくことにしたのも大学在学中でした。会社の設立者である祖母が亡くなる前に仕事や家業の歴史について話したり、身体を壊しながらも仕事の心配をしたりしているのを見て決心したといいます。

「カレット商は小さいころから身近にあった仕事でした。教師になりたいと考えた時期もありましたが、今となってはこれが自然の流れだったのかな(笑)。でもこの仕事を始めたときに教育実習



幼少の頃

の経験をいかして環境について子どもたちに伝えたいというのは考えていました。そこへ出前講師の話が出て。今

の子どもたちがリサイクルに興味を持つことが、将来のリサイクルに繋がってくる。その動機づけをしていきたいし、それができるのは僕たちだと思うんです」

栗原さんは3年前からフォーラムの実行委員長を務めています。フォーラムとは日頃のお客さんである保護者のみなさんと、将来のお客さんである子どもたちに向けて、組合からおくる年に一度のファン感謝デー。そしてファン感謝デーでありながらリサイクルについて考えるきっかけの場所です。環境絵日記をきっかけにスピーチコンテストで環境について話したり、学校で取り組んでいると聞くと嬉しくて、いつかその子どもたちがフォーラムの運営を手伝ってくれたりして・・・と夢が膨らむ栗原さんです。

「今年のフォーラムは広い場所を仕切ったフェスティバル形式になります。環境絵日記も今までより多く展示することができますし、楽しくわかりやすく環境について知ってもらえるようにいろんなコーナーをもうけて『1日リサイクルテーマパーク』を目指しています」

第10回 リサイクルデザインフォーラム 子ども環境会議

日時/10月31日(日) 11時~16時 会場/大棧橋C I Qプラザ

参加無料

今年のリサイクルデザインフォーラムは、「みんな集まれエコレンジャー！」がテーマです。次世代を担う子どもたちをはじめ、幅広い世代の皆さんが、まさに地球環境を守る為に活躍する仲間、エコレンジャーとして集い、様々な角度から環境問題について考える機会を作りたいと考えました。ぜひ、ご参加下さい。



予定されている内容

・イベントゾーン

3R(リデュース・リユース・リサイクル)それぞれのエリアに「体験コーナー」や「クイズコーナー」などがあります。

*クイズやスタンプラリーで各エリアを回り、スタンプをためてクリアすると「エコレンジャー認定証」を差し上げます。

・組合活動展示エリア

組合活動紹介や「子ども環境活動発表会」に応募していただいた小学校など団体の環境学習展示コーナーを予定。その他大塚環境サークルや企業の団体発表コーナーも。

・環境絵日記展示エリア

今回の環境絵日記応募作品の中から入選作品を展示します。

・ステージゾーン

「子ども環境活動発表会」の開催
小学校や子供会などで取り組んでいる子どもたちの3R活動をステージ上で発表します。
「環境絵日記」優秀作品発表会・表彰式
「子ども環境会議」の開催
「子ども環境活動発表会」の発表チーム代表者と環境絵日記優秀賞受賞者によるディスカッション。

会場までの交通機関 ●みなとみらい線「日本大通り駅」下車 3番出口 徒歩約5分(H16.2開通)
●横浜市営地下鉄・JR
「関内駅」「桜木町駅」下車 徒歩約15分

●横浜駅東口バスターミナルから
市営バス/8・20・58系統「県庁前」下車徒歩約5分
26系統「大さん橋」下車徒歩3分

主催 横浜市資源リサイクル事業協同組合/後援 横浜市/協力(財)横浜市教育文化研究所(株)シーンメイカーズプロジェクト

ベジタリアンについて調べてみると、単に健康目的のための野菜中心の食生活を目指すだけでなく、環境・動物擁護の問題、人道上の倫理観、宗教の問題も含んでいることがわかります。思い起こせば、20年前、自分が健康になりたくて何をどう食べればよいのか、いろいろな食養生を勉強するなかで、食生活が環境問題に強く関係していることを知り、不安な気持ちになったことが思い出されます。特に、イギリスで誕生したベジタリアンの世界では、自然を大切に作る行動こそが、私たちの健康を支えていることを教えてくれました。

日本料理はヘルシーなので、欧米では人気が高いようですが、日本人の食生活は残念ながら、欧米に影響を受けていることもあり、ヘルシー食材の中心となる野菜、

豆類、いも、きのこ、海藻は、つけあわせ程度にいただくのが現実です。日本人の健康維持も難しい時代です。そこで、テレビの番組のなかで、「この食材がどこどこに効く!」と知れば、スーパーに走り、いろんな物を試す。気付くと食べなければならないものが山積みで、胃腸を疲れさせていた・食べきれなくてゴミ箱行き・・・なんてケースはよくあります。これでは、エコではなくエゴcookingで問題です。そうならないためにも、食べるということが、単に栄養摂取のためだけでないこと、自然環境との結びつきのなかで、私たちの健康が守られていることを理解してください。食の世界にも哲学があります。

ゴミだらけの地球環境では、どんなにいい物食べても、健康にはなれません。あしからず・・・

材料

- A** キャベツ外葉・芯 100g
にんじん 100g
パセリ軸 数本
しいたけ軸 5枚分
ブロッコリー茎 1/2 本分
玉葱 150g
赤ピーマン 2個
塩 大さじ1・1/2
- B** 酢 2/3 cup
はちみつ 1/3 cup
ローリエ 1枚
赤唐辛子(種とる) 1本
完熟トマト 200g
豚ロース 150g×4
(塩、赤ワイン、キウイスライスで漬け込む)

豚ロースの野菜ソース添え

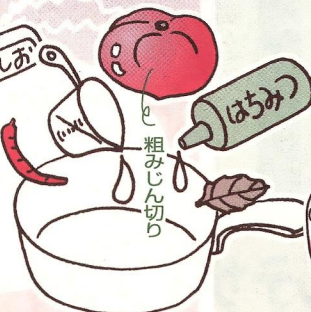
1) Aはすべてみじん切りにする



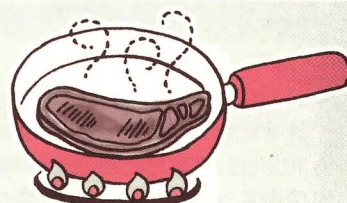
2) 塩で軽くもむ水気を絞る

3) ステンレスの鍋でBをひと煮たちさせ、2)の野菜を入れる

4) トマトを入れ、中火でかき混ぜながら、煮詰める



5) 肉は一晚漬け込み、フライパンで両面焼く



6) 4)の野菜ソースを添えていただく

あまった野菜ソースはびんの保存容器に入れ、冷蔵庫で保存する、1週間保存できます。焼き魚、サンドイッチ、ドレッシング、カレーのつけあわせに合います。

「エコ・クッキング」は東京ガス株式会社の登録商標です。

牛乳パックから生まれた紙ひも

こむすび

小結くん

で古紙をしばれば
まるごとリサイクル



1巻きの長さ90m		価格(税込)	送料
バラ売り		1巻250円	1~6巻400円 7巻~ 600円
箱売り (1箱50巻)	1~9箱	1箱11500円 (1巻230円)	価格に 含まれます
	10箱~	1箱 9500円 (1巻190円)	

お申し込み 横浜市資源リサイクル事業協同組合
お問い合わせ TEL045-444-2531/FAX045-444-2532

小結くん販売場所 ●横浜市青葉区・緑区・磯子区・都筑区・鶴見区・神奈川区・保土ヶ谷区・中区の区役所売店 ●グリーンバザール(南区) ●コミュニティストアすずきや(戸塚区) ●御菓子処おきな堂(神奈川区) ●武松商事(中区) ●村松商店(鶴見区生麦) ●おおぐち通商店街事務所(神奈川区) ●ぶらむろーど杉田商店街事務所(磯子区) ●バラエティたかはし屋(神奈川区) ●どりーむ横浜二番館(西区)

※振込手数料をご負担ください

販売して下さるお店募集中!

リサイクルデザインサポーター 協力会員募集!

●横浜市資源リサイクル事業協同組合

(リサイクルデザイン発行母体)では、協力会員(通称リサイクルデザインサポーター)を募集しています。リサイクル・環境教育・街づくりに関心のある方、自然環境との共生にお知恵のある方。リサイクル情報誌「月刊リサイクルデザイン」を通じて、リサイクル問題の現状や、「循環型都市よこはま」づくりについて、一緒に考え実践していきたいと考えています。

リサイクルデザインサポーター登録の方へは、組合イベントのご案内や情報誌「月刊リサイクルデザイン」を毎月無料で送ります。

●申込方法

お申込は、FAX・メール、またはお電話で、下記資料請求先へ

1.ご住所 2.お名前 3.電話番号 4.「リサイクルデザインサポーター申込希望」とご明記下さい。折り返し申込書をお送りいたします。

●参加資格・条件

1.横浜市内にお住まいの個人および団体(資源集団回収実施 団体・市民団体など)の方 2.私たちの活動をご理解、ご支援していただける方 3.ご本人の入会意思と、正組合員の推薦 4.脱退は原則自由です 5.入会金や年会費はありません

●資料請求先 横浜市資源リサイクル事業協同組合

TEL 045-444-2531/FAX 045-444-2532
Eメール mail@recycledesign.or.jp



ダム湖から引き上げた “アルプスの流木”はいかが？

(株) 自然の間屋

ネイチャークラフトガーデン

流木は自然の健康状態を映す鏡



東京都調布市深大寺東町8-33-1

TEL 0424 (30) 4108

無休 11時～19時

<http://www.naturecraft-garden.com/>

「流木を見れば、その土地の自然環境がわかるんですよ」。のっけから、えっ？と思わせる言葉で引き付けてくれたのは、長澤俊和さん。山が荒れているのか、水はきれいなのか、流木はそれをすべて語ってくれるそうです。

流木は台風や大雨、雪解け、梅雨の長雨などによって山から押し出され、川や海に流された木です。枯れ木や弱った木が流れてくると思いがちですが、その多くは間引いた（樹木が混み合わないよう、適度に切り倒すこと）後、放置された木材だということです。また、樹木が密生した場所では根の張りが弱いと倒れやすい、太陽の光が射さないような手入れ不足の森では土壌の質も悪く土砂崩れが起きやすい、つまり倒木が多く流木も多くなる、ということが言えます。さらに、きれいな水にさらされた流木は表面の状態もさら

として滑らかですが、水が汚れていた場合は油っぽかったり、異臭がしたりします。まさに鏡ですね。

アイディア次第でいろんな楽しみ方が

長澤さんが社長をつとめる(株)自然の間屋は、東京電力の子会社として平成14年春にできた会社で、主に流木関連商品を扱っています。関東甲信越と福島県にある水力発電所は160カ所。そこからは、年間約6000立方メートル（10トントラック1000台分）の流木が引き上げられているのですが、その処理は東京電力の長年の悩みの種でした。放っておくと、ダムの取水口をふさぎ発電ができなくなってしまうなどの問題があり処理は必要。しかし量が量なので、チップ化や埋め立てにも膨大な費用がかかります。何か他の良い方法は、と探ったのが、リサイクルの道でした。

「流木って、ひとつひとつ違う表情でしょ。温かみがあって、何というか、いやされる感じ。流木のそんな良さを活かそうと考えたら、ガーデニングやインテリア、アートなど

いろんな場面での活用が浮かんできたんです」とのこと。処理費を抑え、木材としての価値を再発見・再利用してもらえば一石二鳥です。同社は、上高地をはじめ、日本アルプスの山々を源流とする梓川水系のダム湖に流れ着いたものの中から、形の面白さや大きさなど、厳しい目で選んだ上等な流木だけを“アルプスの流木”として販売しています。ダム湖周辺の天然石や、町に電柱を立てる時にじゃまになって払った枝から作った腐葉土など、その他のエコ商品も多数。まったく手付かずの自然な状態の流木だけでなく、家具や生活雑貨に加工したもの、観葉植物やドライフラワーをアレンジしたインテリア小物など様々な商品があります。グリーンや流木にこいやさながらランチやティータイムを楽しめるカフェも。流木を使った工作や流木磨き、ガーデニングの講座もあるのでお問い合わせ下さい。

▲8月に開催された流木コンテストへの出展作品の数々。流木愛好家が削り、たんねんに磨きをかけてツヤツヤに仕上げました。

1 環境を考えるなら、
まず自分の“手元”から

デザイン一新、一目でわかる
“リサイクルブランド”

牛乳パックは、飲む→洗う→乾かす
→リサイクルデザインボックス
ティッシュに→使う

残念ながら
一度使ったティッシュは
リサイクルには向きません。
使い捨てなら再生品を！

リサイクルデザイン ボックスティッシュ



200組400枚入り/1個

1ケース50個入り（5個1組×10パック）3,675円（価格は市内送料・税込みです）

*ご注文は1ケース以上でお願いします。11ケース以上の場合、1ケースあたり3,465円になります。1パック（5個）あたりに換算すると347円から368円です。

*市外への発送は別途料金がかかります。

もったいない！ティッシュは使い捨て！
だから作りました
“牛乳パック100%の再生品”

グループ購入のおすすめ

「10パック（50個）は、多すぎる」と思ったあなた。グループ購入という方法もありますよ。

例えば5人で購入すれば、1件（1家族）あたり2パック（10個）というほど良い数。町内会や子供会などおおぜいの仲間を集めれば、一度に大量購入もできるかも。11ケース以上だと、お得な割引価格になります。玄関先までお届けしますので、たいへん便利です。

●ご注文・お問い合わせは
横浜市資源リサイクル事業協同組合
電話/045-444-2531
FAX/045-444-2532



RECYCLE Design

リサイクルデザインのロゴマーク

2つの円形は血管を表しています。右の赤い円形が動脈、左のにじんだ円形が静脈。私たちは、産業全体の中の静脈部分を扱っていますが、静脈の正常化だけでなく、動脈の正常化も同時に目指していきたいと考えます。

●リサイクル標準価格表

2004年8月現在
日経 8/26

品 名	買入価格	業者の売値
	1キロ当たり	1キロ当たり
新 聞	*** 0円	5円
雑 誌	** 0円	3円
段ボール	** 0円	3.5~4円
衣類くず	** 設定不能	0~1円
アルミ缶	**** 10~15円	
小学校アルミ缶回収	40~60円	

* 集団回収には「買入価格」を適用 ** 有料
*** 有料の場合あり **** スチール缶と選別済の価格
★ 500キロ以上集団回収する団体の適用価格です。
取引条件により多少変化します。
★ 事業所から発生したものは集団回収の対象になりません。
事業所ごとに業者と直接ご相談ください。
★ 集団回収以外の段ボール回収は、1回3000円以上の手数料がかかります。段ボールは必ず束ねて出してください。
★ 小学校アルミ缶回収は、100kg以上の場合・小学校のみ適用。専用の回収袋を使用。現金化のほかに車いす（250kgで）にも交換できます。

INFORMATION INFORMATION INFORMATION INFORMATION INFORMATION

編集室から
南・港南・磯子・金沢・栄・泉区にお住まいの皆さまへ
この10月から開始された10分別15品目の分別品目拡大は、皆さんの生活を変えましたか？
何か、家庭の中で今までと変わったことはありますか？
資源の分別のために工夫されていることはありますか？
本誌では今後、分別品目拡大の特集を企画しております。
分別のアイデアやごみを減らす方法、家族の苦労話などが
ありましたら編集室までご一報下さい。
(郵送・FAX・Eメールにてお願いします)
今年もRDフォーラム「環境給日記と子ども環境会議」まで
一ヶ月となりました。今年は「3Rのクイズ&体験」でエコ
レンジャー認定証を差し上げます。(小学生限定)
皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

「リサイクル教室」 出前講師を派遣します

「新聞はトイレトペーパーに生まれ変わるの？」「いつからリサイクルは始まったの？」リサイクル教室では出前講師が、さまざまなギモンについて話をします。

問合せ TEL 045-444-2531

出前講師派遣状況

日 時	対 象
5/11	神奈川区G30サポーター研修会
5/19	FMヨコハマでオンエア
5/24	西区推進本部総会
6/9	金沢区北六浦保育園
6/19	旭区希望ヶ丘南区G30活動委員会及小学生
6/23	鶴見区環境事業推進員
6/27	港南区自然食料理教室「ふる里」
6/28	鶴見区上寺尾小学校環境委員会
7/12	金沢区横浜創学館高校
7/14	栄区家庭科研究部会
7/26	西区「もったいない探偵団」団員
8/25	神奈川区学校用務員

「リサイクル今とむかし」リサイクルデザイン 別冊

月刊リサイクルデザインでは、2003年1月の100号記念号で「リサイクルの今と昔」を特集しました。今回、その内容をいちだんと豊富にして構成し直し、あらためて、月刊リサイクルデザイン別冊『リサイクル 今とむかし』を発刊しました。イラストを使って、子どもたちに分かりやすく、江戸時代のリサイクルから現在のリサイクルまでを紹介しています。

好評発売中！



※グリーンバザール(南区六ツ川)に置いてあります

価 格 350円 (税込)

フルカラー24頁

※送料は別料金になります

FAX 045-444-2533

Eメール mail@recycledesign.or.jp

月刊リサイクルデザインは次の場所に置いてあります

●マリンスポーツデスク・リップル(鶴見日新ビル2F) ●グリーンバザール(南区六ツ川) ●地酒 篠原屋(港北区篠原) ●神奈川銀行瀬谷支店・本牧支店 ●損保ジャパン横浜支店 ●東京ガス環境エネルギー館 ●マルエツ井土ヶ谷店・大倉山店 ●相鉄ローゼン三ツ境店・港南台店・大口店・二俣川店・緑園都市店・いずみ中央店・山手台店・白根店食品館・モザイク港北店・六ツ川店・金沢谷店・和田町店・左近山店・瀬谷店・いずみ野店・弥生台店・笹山店・東寺尾店・富岡店・ひかりが丘店・希望ヶ丘店・並木店・南まさが原店・中田店・南瀬谷店・ひなた山店・磯子店・オルト新子安 ●マイカル天王町サティ店 ●ジャスコ駒岡店・金沢シーサイド店 ●カフェ杜(港北区日吉) ●きまま舎(緑区霧が丘) ●うどんカフェ(青葉区こどもの国) ●横浜国際ホテル(西区南幸) ●さくら歯科クリニック(オーケー港北ニュータウン2F) ●リサイクルショップ「トロワの森」 ●横浜国立大学生協組合大学会館店・工学部店 ●神奈川県中小企業団体中央会(中区尾上町) ●リセールショップ遊眠 ●Weショップ旭(旭区中希望が丘) ●Weショップかながわ大口店(神奈川区大口通) ●Weショップかながわ六角橋店(神奈川区斎藤分町) ●Weショップこうほく(港北区大豆戸) ●Weショップほどがや天王町店(保土ヶ谷区天王町)

月刊 リサイクルデザイン No.121

発行日: 2004年9月25日

発行人: 秋元康男

編集人: 工藤健一

編集室: 戸川孝則・竹澤留美

広報企画委員会: 山岡秀明・武松昭男・松澤嘉継

杉山宜利・芦澤博志・宗村隆寛

栗原清剛・大内 敦

発行所: 横浜市資源リサイクル事業協同組合

〒221-0054

横浜市神奈川区山内町13番地

TEL 045-444-2531/FAX 045-444-2533

制作: (企) エコ・アド

印刷: (株) 横浜プリント

月刊リサイクルデザインは新聞古紙100%の再生紙と環境にやさしいSOYINK(大豆インク)を使用しています。

